

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 34

プロフィール 橋本 和善 (46歳) 千葉県より移住

健康都市の実現に向け、活動開始！

笠間に来てはじめての「陶炎祭」。会場でお手伝いをしながら参加しました。出展ブースや来場者がとても多く、イベントの盛り上がり感動しました。

健康増進に関する活動としては、シルバーリハビリやスクエアステップ等の体操教室を視察させていただき、現場の皆さんからたくさんの元気をいただきました。

また、笠間の山の魅力をもっと知ってもらい、市外からも多くの方に足を運んでもらおうと水戸市やつくば市のアウトドアショップへ愛宕山と稲田地区のハイキングマップを配付してきました。ノルディックウォーキングというポールを使ったウォーキングが徐々に盛んになってきているので、これから笠間でも市民の皆さんの健康増進のために普及したいと考えています。



ノルディックウォーキング風景



ハイキングマップの配布 (水戸市内)

地域おこし協力隊とは



地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
ご覧ください facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課 (内線538)

サンエツ工業株式会社茨城工場 笠間市押辺2109-11



野口さん

社内行事が多く、みんながすぐ打ち解けられるところで

・職場の自慢

・笠間の好きなところは

愛宕山です。何度か山登りをしたことがあり、とても新鮮な空気を味わうことができるのでオススメです。

・今後の目標は

丁寧かつスピーディーな作業で、不良品数を限りなく「ゼロ」に近づけることと、業務の効率化を図ることです。

・やりがいを感じる時は

今まで難しいと感じ、できていなかったことが、できるようになった時です。次の工程を考え処理時間を削減できたときや、同じ作業時間でも前回よりきれいに製品化されたときにやりがいや達成感を感じます。

・どのような仕事を担当していますか

医療機器製品に使われる部品を作る仕事をしています。主に材料同士で化学反応を起こし、硬化させる作業がメインですが、低融点合金を流し込む作業も行なっています。



作業の様子

今回紹介するのは笠間市にあるサンエツ工業株式会社に働く野口純矢さんです。〔茨城町在住・入社8か月目〕

このコーナーは、市内の企業で働くフレッシュな社会人を紹介します。

キラリ！ 社会人 がんばる企業 応援連絡会